



## 健康・農業関連事業

自社の研究開発力を基盤に、  
世界の食糧、健康・衛生、  
環境問題の解決に貢献します。

代表取締役 常務執行役員

水戸 信彰

### 重点的に取り組むSDGs



### 事業内容

住友化学の健康・農業関連事業部門では、特長ある農薬・農業資材やメチオニンなどをグローバルに提供することで、食糧の生産性向上に寄与しています。

### コア・コンピタンス

当社は、自社開発の優れた化学農薬に加え、バイオラショナルやポストハーベストなど高いシェアを持つユニークな農薬や農業資材を品揃えし、グローバルに販売しています。特長ある農薬の品揃えとそれを生み出す研究開発力に加え、グローバルな販路を有することが当社の農薬事業の強みとなっています。また、メチオニン事業では、高い生産技術を活かし、製品を原料から一貫生産し安定供給しています。

### 基本戦略

現在は、農薬・農業資材の製品力のさらなる強化、グローバルフットプリント(自社の販売網)の拡大、新規農薬の着実な開発・上市に取り組んでいます。加えて、メチオニンの競争力強化により、同事業のアジアでのリーダーとしての地位を確固たるものにするべく取り組んでいます。

### 2019年度の取り組み実績

グローバルフットプリント拡大および新規大型殺菌剤の販売最大化などを目的に、ニューファーム社から南米農薬事業を買収しました。また、インドで子会社2社の統合が完了しました。さらに、メチオニンについては、生産効率の低い旧プラントを停止するなど、生産体制の最適化を進めました。

### 今後の取り組み課題

次世代大型農薬の開発を加速し早期の上市を目指すほか、大型戦略投資を実施した南米やインドにおいて、統合シナジーの最大化に注力します。また、バイオラショナルや種子処理など、当社が強みをもつ分野の事業の拡大にも取り組みます。メチオニンについても、徹底した合理化により、さらなる競争力強化に取り組んでいきます。

### 長年に目指す姿

これからも、自社の研究開発力を基盤に、世界の食糧、健康・衛生、環境問題の解決に貢献することで事業規模を拡大することを目指します。

## 2019-2021 中期経営計画

(億円)

アクションプラン	検討課題	2019年度実績	2018年度比	2019-2021年度中期経営計画部門目標 2021年度計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>● バイオラショナル事業の強化・拡大</li> <li>● 新規農薬の着実な開発・上市</li> <li>● メチオニンの販売拡大・収益構造強化</li> <li>● 生活環境事業のグローバル展開強化</li> <li>● 核酸医薬事業の基盤構築と技術拡張</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アグロ事業のグローバルフットプリント(自社の販売網) 確立</li> </ul>	<b>売上収益</b> <b>3,437</b>	+56	<b>4,800</b>
		<b>コア営業利益</b>	-176	<b>750</b>
		<b>SSS※認定製品の売上収益</b>	+51	<b>1,840</b>

※ Sumika Sustainable Solutions

## 主要事業のSWOT分析

- 高い研究開発力と充実したパイプライン
- ニッチ分野でのユニークな技術・製品
- 高シェアを有する製品群
- 海外大手メーカーとの提携関係
- トータル・ソリューションの提供



- 競合大手と比べ小さい事業規模

- 人口増加に伴う食糧需要の拡大
- 農業関連事業の事業規模拡大
- 生活環境事業の周辺・川下分野での需要拡大

- 農薬の規制強化
- オフパテント農薬との競合拡大
- 競合メーカーの合従連衡

## 製品紹介

### ■ 農業関連事業 [農業用殺虫剤、除草剤、殺菌剤、バイオリショナル、肥料、コメなど]

化学農薬	農作物などに被害をもたらす多くの種類の害虫に効果を発揮する殺虫剤や、作物に応じた除草剤、農作物の病気を防除する殺菌剤を幅広く展開しています。
バイオリショナル	天然物由来の成分を活用した微生物農薬、植物生長調整剤、根圏微生物資材などを提供しています。



農薬製品

### ■ 生活環境事業 [家庭用殺虫剤、防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策事業関連製品、動物用医薬品など]

家庭用殺虫剤	屋内外で使用する殺虫剤（蚊取り線香、液体蚊取り、エアゾールなど）や虫除け樹脂製剤などに用いられるピレスロイド系薬剤とそのデバイスを、製造・販売しています。
--------	---



家庭用殺虫剤製品

### ■ 飼料添加物事業 [メチオニン]

メチオニン	主に養鶏に用いられるメチオニンを製造・販売しています。メチオニンは必須アミノ酸の一種であり、飼育対象動物の成長を促進する働きがあります。
-------	--



DL-メチオニン、  
メチオニンヒドロキシ  
アナログ

### ■ 医薬化学品事業 [医薬品原薬、核酸医薬品など]

医薬品原薬	国内外の製薬企業に医薬品の有効成分（原薬）およびその中間体を供給しています。
-------	--



医薬原薬

## 主要事業の市場環境・戦略

### ■ 海外事業

世界の農薬市場は年率3%程度の成長が期待されています。海外農薬事業では、事業提携や事業投資を実施しており、とりわけ成長著しい南米やインドを中心に事業規模の拡大を進めています。南米地域は世界の農薬市場の約25%を占めており、北米や中国を上回る市場規模となっています。また、インドは年率7~8%で成長しています。さらに、当社は次世代大型農薬の開発にも注力しており、早期にグローバルな市場への上市を目指します。

### ■ メチオニン

年間130~140万トン程度のメチオニン市場は、世界的な人口増加や、新興国での食肉文化の広がりなどを背景に、年率6%程度の成長が期待されます。当社は2018年度に生産能力を増強し、新規の優良顧客などへの販売拡大を進め、アジアのトップメーカーとしての地位をさらに強固なものとしています。一方で、生産効率の低い老朽プラントを停止するなど、収益性を改善するための取り組みも進めています。

# 価値創造モデル：海外農薬

## 付加価値を提供する仕組み

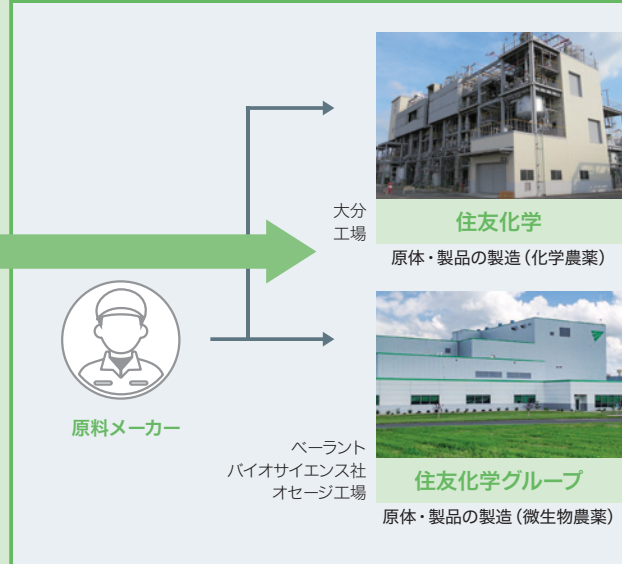
### 主要経営資源 (インプット)

知的資本	化学農薬およびバイオリショナル(微生物農薬)に関する長年の知見の蓄積をもとに、研究開発を推進しています。
人的資本	世界各地でスタッフが、グローバルなネットワークを活用し研究開発を行っています。



グローバルな研究開発のための創業・イノベーション拠点である健康・農業関連事業研究所合成研究棟「ケミストリーリサーチセンター」

### バリューチェーン



### 住友化学の競争優位性

#### ■ 市場の競合状況

世界の農薬市場には、欧米の大手メーカーから比較的規模の小さなメーカーまで、多数のメーカーが存在しています。農薬は地域や作物によりニーズが大きく異なります。当社は、化学農薬とバイオリショナルからなる製品ポートフォリオを活かして、世界の各市場でユニークなポジショニングを追求しています。

#### ■ 競争優位性

住友化学は、研究開発にコミットしており、新規ソリューション開発のために基礎的探索研究から応用開発研究まで長期的視野で取り組んでいます。これらの取り組みを通じて得た独自の製品や技術が、当社の競争優位性の基盤となっています。

#### ■ 競争優位性強化の取り組み

2018年に健康・農業関連事業研究所に合成研究棟を新設して、新薬探索から工業化の検討までの研究機能を集約しました。また、米国でバイオリショナルの新研究拠点を稼働し、より効率的な開発を迅速に進めています。さらに、2016年にブラジル、2017年に米国中西部に研究圃場を新設、2018年には国内にて真壁圃場施設を拡張し、より多様な環境での試験を行うことで新製品の開発を加速しています。

### 競争優位を生む主要プロセス

**研究:** 探索研究では新しい農薬の有効成分を探します。ここでは効果だけでなく、人や環境への安全性も評価します。グローバルな開発研究ネットワークを活用して、できるだけ早く新しいソリューションを開発できるよう取り組んでいます。また、既存の有効成分を活用して新しい農薬製剤や使い方を提供するための応用開発にも力を入れています。



健康・農業関連事業研究所

### 収益構造・収益ドライバー

世界の農薬市場はおよそ600億ドルの規模があり、年率3%程度の成長が期待されています。住友化学は、研究開発を通じて得られた高い技術を通じて、効果が高く、市場のニーズにあった製品を次々と上市することで収益率の向上を目指します。次世代大型製品群の開発が進展し、2019年には各国で新製品の農薬登録申請を行いました。こうした製品は2020年以降の上市を予定しています。



## 社会に提供する付加価値

農薬メーカーである住友化学は、農薬の研究開発・登録・製造を通じて作物保護のための製品を提供します。これらの製品は卸や小売を通じて販売され、農家で使用されます。



顧客  
卸・小売・農協



消費者  
農家

### 顧客・消費者ニーズ

農家は、農薬を使用することで、農作物の品質および収量を向上させたいと考えています。また、農作業を効率化し、収益性を高めることも期待しています。それと同時に農薬が農薬の使用者や農産物の消費者の健康に害を及ぼすことのないように、安全・安心も追求しています。

### 顧客価値提供

住友化学は、顧客のニーズにあった効果が高くユニークな製品を提供します。地域や作物ごとのニーズを捉えたソリューションをつくり出すことで、持続可能な新しい農業技術の構築に貢献します。



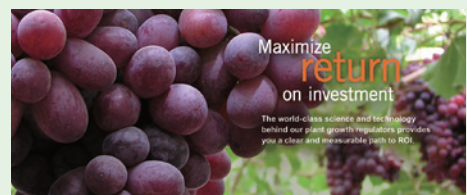
バイオリショナルの  
技術指導の様子



## 食糧の生産性を向上させることで 食糧の安定供給に貢献

住友化学は経営として取り組む重要課題の一つとして、「食糧問題への貢献」を掲げています。海外農業事業の製品の一つである植物生長調整剤は、果実や野菜の実の付きを良くする、大きくする、品質を良くするなどの効果があります。さらに、作物の開花期や熟期の調整が可能であるため、気候変動により低温化や乾燥化が進んだ地域での作物の栽培にも対応し、世界各地での食糧増産に貢献しています。

世界的な人口増加と世界経済の発展に伴い、安全・安心な食糧の需要が高まっています。当社はユニークな資材をグローバルに提供することで食糧の生産性を向上させ、食糧の安定供給に貢献することを目指します。



ベーラントバイオサイエンス社の製品概要より

事業を通じた価値創造